

# たまいたま 川柳



珊瑚礁

2019年  
7月号 (No.716)

日川協加盟

## 巻頭言

こころとくらし

願法みつる

七月号誌は、六月の大会を終えた後の発行誌なのだから、常のように大会挨拶の内容などを書いたらどうか・・・と思われるだろう。

確かに、通り一遍のご挨拶は述べますが（と斜に構えた言い方は失礼ながら）、この号の主とする対象は会員です。誌上や当日の大会にご参加頂いた方々には、八月号誌をお届けする段取りになっています。故に正式なご挨拶は、その折りに、と言うことでご理解を頂きたい。

加えて、この号の原稿は五月下旬に準備されたものであると言うこともご承知願います。そうなのです、誌発行の業務スケジュールは、常に二ヶ月分先行します。脳の働数が減少しつつある状況では、まさに両の指を折りながらの作業です。まだ脳が十分に活性して居られる有志のご参画を、切に希求します。全くの無償ボランティアですから、呈するものではありません。愛は奪うのみです。

述べ忘れるところでした。第五十五回さいたま川柳大会を無事？終えることが出来ました。会員皆様から陰に陽に賜りましたご協力ご支援に、深甚なる謝意を申しあげます。

そして大会とは、対外的なギブアンドテイクの協力関係で培われるものなのだ・・・と、しみじみ感得できます。

日日是好

願法みつる

大笑い曇りの空に穴を開け

万象の私語受けとめる身の一つ

梵鐘が聞こえていればまだこの世

あの世から帰れと言われたら困る

三毒の身で十善を踏み付ける